

頭頸部および食道表在癌における生検鉗子径の違いが病理診断に与える影響

1. 研究の対象

当院で上部消化管内視鏡検査を受け、咽喉頭あるいは食道から生検を施行された患者さん。

2. 研究目的・方法

本研究が倫理審査委員会承認されてから 2027 年 3 月 31 日までの期間中に、上記の部位からの生検で作成された標本の一部を、中央病理での組織診断を行う際に使用します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：生検から作成された組織標本

情報：年齢、性別、生検部位、病変の内視鏡的所見など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 副院長 石原 立

住所:大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69 電話:06-6945-1181

研究事務局

大阪国際がんセンター 消化管内科 谷 泰弘

住所:大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69 電話:06-6945-1181

-----以上